

【作業状況】

南側(赤色)では、免震装置の上部(1階床)の柱や梁の型枠・鉄筋工事が進められています。北側(青色)では、基礎部分の鉄筋を組んでいます。

- 南側：1階床梁・柱の配筋
- 北側：免震階の基礎配筋
- 外構：擁壁の基礎工事

1階床梁や柱の型枠・鉄筋工事を行っています。また、建物本体工事と並行して、外構では駐車場の高低差が生じる箇所に擁壁を設置する工事を進めています。

全景



【1階床梁の配筋】

免震装置の上に、梁の型枠・鉄筋を組んでいます。※奥に見える65tクローラークレーンのアームは全長61mあり、来年の夏頃まで稼働する予定です。



【シートパイルの引き抜き】

基礎の擁壁(外周部の壁)が立ち上がったため、これまで土圧を支えてきた山留め用のシートパイルをサイレントパイラーという機械で引き抜いています。



【外構擁壁工事】

駐車場に高低差ができるため、全長約67mの擁壁を設置します。現在は、杭工事が完了し、擁壁の基礎工事を進めています。

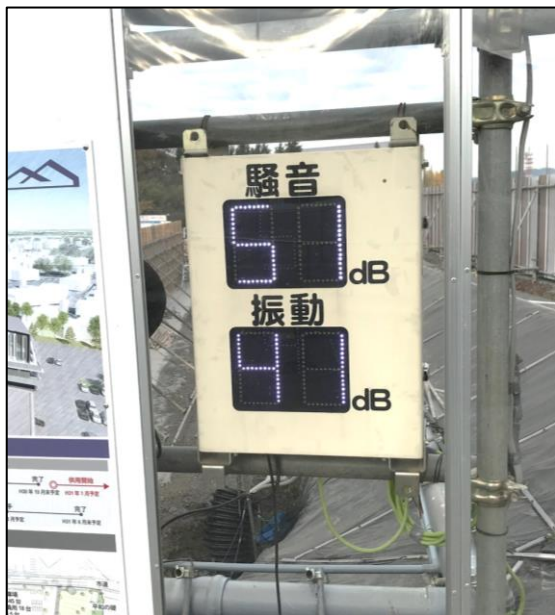
<現場での朝礼の様子>

現場では、安全標語の看板を設置するなど、作業員の安全に対する意識を高めています。毎日、朝礼・昼礼を実施し、ストレッチ体操や作業内容の確認、安全喚起等を行っています。



<騒音計・振動計>

仮囲いには騒音計、振動計を設置しています。工法や機械の選定に留意し、工事の騒音、振動の抑制に努めています。



<クリアパネル>

仮囲いの一部をクリアパネルにし、週間工程表を掲示することで、どのような作業が行われているか、現場が見えるようにしています。

